

会 議 記 録

次の審議会（協議会）を下記のとおり開催したので報告します。

審議会等名称	令和4年度第3回近江八幡市社会教育委員・公民館運営審議会委員の会議		
開催日時	令和5年3月17日（金） 13：30～15：05		
開催場所	近江八幡市文化会館 1階 オーケストラ練習室		
出席者 会長◎ 副会長○	<社会教育委員> ◎大橋委員 楠亀委員 深山委員 山田委員 松本委員 葛島委員 松岡委員 吉井委員 三木委員 重野委員 高橋委員 <説明者・事務局> 生涯学習課 東課長 井上参事 西嶋主任主事 田中主事		
次回開催予定日	令和5年6月		
問い合わせ先	所属名・担当者名： 近江八幡市教育委員会事務局生涯学習課 田中 電話番号：0748-36-5533 Fax番号：0748-36-5565 メールアドレス： 045000@city.omihachiman.lg.jp		
会議記録	発言記録・要約	要約した理由	内容が整理され、記録として残すことに適しているため

事務局	1. 開会 (1) 挨拶
委員長	委員長挨拶
事務局	会議出席者の報告
事務局	↓ 議事交代(委員長による議事進行)
	2. 報告・協議事項 (1) 部会からの報告「学校と地域の連携・協働」部会
委員	令和5年2月17日部会開催。意見交換を行い、今後のテーマを「人と地域のつながりをどうやってつくるか」に決定したことを報告。
委員長	テーマは人と地域の繋がりをどのように作るかということに決定しました。これに関連いたしまして、今後の活動の参考とするために社会教育委員の皆様方がどのような形で地域との繋がりを持たれておられるのかお聞かせいただければと思います。
委員	今のPTAの現状としては、会員さんがやっぱり抜けたいって言っている学校が増えてきているのは事実です。非常に市のPTA連合会としても、ここからどうしていったらいいかなという状況です。 昔はPTAや保護者で子どもたちに伝えようみたいな感じがあったんですけども、今は、親御さんがとても忙しくて、自分達の生活のために働くことで精一杯という方もいらっしゃると思います。 それでも保護者や先生と地域の方々と連携して子どもたちを見ていくことは非常に大切ななとは思っています。 本来ならばPTAは、ボランティア団体なので他の皆さんの善意というか、参加していただけるだけでよかったんですけど、どこか強制的になってすごくしんどいものみたいな感じになっています。 連合会としてもちょっと改善していくように今ずっと働きかけています。 意外に一人一人の保護者さんに話を聞くと、日時を指定してくれたら行けると言ってくれる保護者も非常に多いです。 子どもたちのために何かしてあげたいって思っている保護者の方も非常に多くて、そういう方々と連携できないか模索中です。
委員長	その他にいろいろとご意見、あるいは思いを持っておられることが、もしございましたら、ご発言の方よろしく願いをいたします。
委員	安土のコミュニティスクールで関わりをさせていただいております。 状況を聞かしてもらおうとボランティアを募って、図書の整理であるとか、催しのときに子どもたちの面倒を見るというような活動をしていただいております。 PTAの役員だったら、研修会や催しなどがあるので負担は役員の方に負担がかかります。 それを解決された方があって、PTAのトリセツという本を書いておられる。 PTAというようなことだったらPTAにトリセツという本を一度ご覧になっていただきたいと思います。
委員	役員に当たったら何かしなければならぬと思ひ、みんな臆病になってしまうと思う。今まで信長まつりや安土っ子フェスティバル等にも関わってきましたので、先日の学校と地域の連携協働の部会の中で、これまで私が体験してきたことをお話しさせていただきました。

	阪神淡路大震災の後、各地で耐震工事が盛んに行われました。私も建設委員に任命されました。委員が一番希望したことは、安土小学校の体育館は、鉄筋の体育館じゃなくて、木造の体育館でした。体育館というのは主にスポーツ、入学式や卒業式等によく使われる。地域の人、体育館を利用できるように、体育館の中に、コミュニティホールというものを作っていただきました。そこは地域の人たちがいつでも集まって話をしてもいい。地域の話など、いろんなことを話し合ってもらえて、自由に使えるコミュニティホールです。一番最初にできたときに、『安土っ子フェスティバル』という名をつけてイベントを行うことになったんですね。最初何をしてもいいということで、フリーマーケットでクラフト作り、手作り品の販売、動物とのふれあい広場、ゲームコーナー、大縄跳び、昔の給食で人気のあった揚げパンとかの販売、そういったものをいろんな人たちが持ち寄って、たくさんイベントができました。お茶席も設けて、最初の年は文化協会の茶道クラブの大人たちが接待したんですけども、2年目からは、小学校でクラブに所属する子どもたちが手伝ってくれるようになったんです。3年目からはお茶クラブの子どもたちだけできるようになりました。地域の人たちの参加者も増えました。 実践事例ありがとうございました。非常に興味深いお話だったと思います。学校の施設を使って PTA さんも参加したり、地域の方が参加したり、普段教育に使ってもらえるような施設を拠点にしてこういう活動も可能だっていうようなことをちょっと理解いたしました。非常にこれ実践事例としては極めて素晴らしい事例だったかなというちょっとお話聞いて感じました。ただ先生方の負担がですねどうしても休日になると働き方改革で難しい面がございますのでこの辺りどう克服していくかということもございます。他に何かございましたらどうぞ。 社会教育委員として参加させていただいてると思うんですね。もっと広い意味で社会教育というものをどういうふうに育てていくのかというところにポイントを絞って話をするのがこの場じゃないかなと思います。保育園の問題とか学校の問題がメインのテーマになってるんですね。事務局の方としてももうちょっと学校、学校教育に関する問題であれば、学校教育に関連する集まる場を持って意見交換を行うとか。保育園の問題であれば保育園の方たちを交えて話をするというようなことだと思います。ここの場は社会教育という立場で参加してると思います。 学校の話というのは、みなさんが関わってこられた事例から、成功例などを皆さんで共有していったら、学校と地域をどうしていったらよいのかという議論をしている場だと思います。たしかに学校は学校で考えておられます。地域、住民としてどのように学校と関わっていくのか。共働きの増加、定年の延長などにより、PTAの活動が減少している。負担を減らして気楽に、という方向になっている。地域の活動も同じようにどのように負担を減らして繋がっていくかということがこの議論のテーマだと思います。自身が運営協議会委員としてかかわっている学校では、子供たちの意見を吸い上げて、地域での活動に反映していこうとしています。こういったことも、一つの提案として事務局で考えていただいて、我々も色々意見
委員長	
委員	
委員	

委員	を出して、進めていけばよいのではと思う。 前回のこの会議で、50 歳以上というような年齢の人の課題というのが報告されました。 保護者の方も 10 年したら、その 50 歳に近づいていきます。 一定の年代以上の方々は同じ向きを向いているが、世の中が間違いなく個人化しています。まとめることが難しい。いろんな空気を吸えるところで、私たちより若い世代の人たちはやっています。
委員	あと 10 年経つと 50 歳になる世代。同世代の人たちは、群れることがあまり好きではないです。皆さん自分でインターネットや SNS 等を使って自分で勝手にコミュニティを作っています。何かそれぞれ趣味とか勉強したいことがあっても、その地域で何かやっていることに参加するというよりかはネットの YouTube を見て、自分でも本当に勝手にそれを見ながらいろいろ作ったりとか、発表したりとか、そういうことをしているイメージが非常に多いです。 例えば、いろんな人に教えたいなとか、その学びのお手伝いをしたいなと思っていても、どこに相談すればよいかわからないということも関係していると思います。以前の部会でもお話したが、教えたいが教える場がないという思いを持っている人も多いと思います。 例えば絵を描きたいと思っても、どのコミュニティに入ったらいいのか、わからないということも多いのでは。若い世代は SNS などで済ましている場合も多いが、地域の中で活動してみたいと思っている人もいます。 同世代の人と話していて、やってみたいが、時間がないというお話も聞く。 うまく繋がっていただければいいなと思っています。
委員	自治会だけでイベントとかができにくい、やっぱり若い人、子どもを集めることが必要だと思います。 これからの世代をどうしたら呼び込めるかということを考えていかないと思っています。 広い意味で地域というのは、そこに住んでいる方々だけでなく、企業と共に取り組むことも、考えていかないと思っています。
委員長	我々の世代と若い世代は考え方が全く異なると思います。 我々は義務感で動いているところもあるが、若い世代はそうではなく、楽しいという感覚で動いていращやる部分もあるのではないかな。PTA の活動に参画してもらうとなると、そういった思いも大事にしていく必要があると思います。 ここで価値観は転換しないとかつての意識では対応できない。 学校の問題も学校の中だけで完結することもなくて、地域の力を借りなければ解決しないものもあると思います。 その一つの例がコミュニティスクール。この流れではあくまでも学校と地域の連携部会の話の流れなのでお話するが、窓口を分ける、コーディネートする人材の育成など必要です。 長浜市ではスクールガードのなり手不足が課題。学校とスクールガードの連携がなかなか取れていない。子どもは地域で育てるといわれているが、学校と地域が連携出来て初めてこれが実現します。 上の世代はこれまで培ってこられた技術をお持ちだから、これをうまく活用していくことによって両者の連携が深まっていくのかなと思っています。 このあたりが大きな課題かなと思っている。両者を結び付けるには行政の支援も重要なポイント。行政・教育・地域の 3 者が連携を取りながらやっていくのがこれからの流れかなと思っています。

委員	自分の住んでいる地域では新興住宅地ができてその住民が高齢化してきたが、近隣に公民館もないような立地。地域でのコミュニケーションがないということがこれからもどんどん起こっていくと思います。孤立がどんどん深まっています。高齢者が社会教育にどうかかわっていくかというところが問題になってくると思っています。地域がまたがったおおらかな結びつきなど、そういうことを考える必要があると思います。地域社会の高齢化に対してのバックボーンをどのように厚くするかということを事務局でも一つのテーマとして捉えていただきたいと思います。
委員	少子高齢化、核家族化、コロナ禍等により、地域社会における人と人とのつながりが希薄化していると思います。 コロナ禍や大規模災害の発生などを機に、地域社会のつながりの大切さ、必要性を認識するようになってきました。 いのちの安全・安心、危機的状況への対応は、人々の繋がりの中で行うことが求められていると思っています。 近江八幡市では、社会福祉協議会主導でサロンを実施して仲間づくり、生きがいを実践しています。こうした取り組みがうまくいったらつながりが強くなっていくことと思っています。サロンが継続してつながりが強くなったら一步踏み出して自分たちでメニューを取り入れて勉強会などの活動が主体的にできないかなと、社会教育に発展していくのではないかなと思っています。老人会の活動が弱まっている中で、次なる活動はサロンかなと思います。勉強して触れ合ってもらって自分たちが意見を発表出来る段階になったらもう少し深めていったらよいのではないかなと思います。
委員	新興住宅では自治会館がないのが問題。自治会組織はどのような形になっているのか教えていただきたいです。
委員	自治会組織はあるが、集会所がないような状態なので、G ネットに部屋を借りて、取り決めを行っています。問題が出てきた場合に、気楽に話をする場所があると問題を解決するために話し合い等ができるのでいいと思います。
委員	自分の居住地は約150戸あり、ゴミ当番など、行政の切り口での動きなど、自治会の当番は不備なく回っているが、問題は当番でのつながりと催しなどのつながりなどと分かれていると思います。社会教育の切り口で見たときに、人のつながりはなんだろうと考えたら、どんどん薄くなっていきます。私たちの上の年代は何でつながっているのか、下の世代は、子どもたちは何でつながっているのか。自身が関わる幼稚園での様子を見ると、子どもが接着剤になって高齢世代が喜んでつながっている。若い世代をつなげるのも子どもが非常に有効。ではその上の世代は何でつながるのか、それを私たちは見つけることが重要なのではないかな。これからは何でつながっていく、何でつなげていくのか、これが軸のテーマになると思います。
委員長	親と子はセットで軸にしてくと言うのが大事なかなと思っています。親子と一緒に何かをする。それを我々が何らかの形でかかわっていく、これが我々ができる現実的な方法の一つかなと思います。 私の近隣のまちづくりセンターの稼働率は600%以上と非常に高いです。地元に着した施設を拠点にするということも大事。楽しみをキーワードにしてあつまるのも一つの形。楽しくなければ人は集まらない。どんなことでもよいのでやってみる。上の世代が培ってこられた知識を何らかの形で下の世代にフィードバックする。これも一つの手。地元ならではの何かを親子に提供するのも一つのきっかけになると思う。なんらかの工夫、きっかけ作りも一つの課題かなと思います。
事務局	2. 報告・協議事項 (2) 社会教育委員だより「つなぎ（仮）」の提案について

委員 委員 事務局 委員長	経緯や掲載内容、周知方法について説明する。 部会の写真が同じ部会ではないか。載せるのであれば、別々の部会が良いと思います。 出してもらうことに反対する理由はないが、「社会教育とは？」の内容について、少し理解が難しいので、少し工夫をお願いしたいと思います。 ご意見を参考に、文を修正します。 社会教育の定義については、実践できそうな内容にとどめていただくのがよろしいかと思います。 3. 連絡事項について 連絡事項について説明。 説明について、意見・質問を求める。→意見なし 4. 閉会
---	---